

現行のバージョンは30.3.1です。

私のプログラム開発ソフトも、数年前からWindows10と11対応のVS2019へと変わっています。

お使いのPCのOSがWindows10以降Win11まで使えます。 Win7では動かなくなったそうです。

DSCW320.zipファイルを解凍すると、下記のファイルが展開されます。

- 1.Setup1.msi (プログラムのインストーラー)
- 2.readme.pdf (このreadmeファイル)
- 3.取扱説明書.pdf
- 4.インストール手順.pdf
- 5.アンインストール手順.pdf

インストールをするには、DSCW_Setup1.msiを直接ダブルクリックしてください。 インストール手順は、このプログラムファイルと一緒に添付した「付録1」インストール手順.pdfを参照してください。

マイクロソフトが提供してくれているMSIインストーラーを使っていますが、何をどう置き換えてもバージョンアップが自動的に出来ません。 恐縮ですが、古いバージョンを先にアンインストールしてから、新しいのをインストールしてください。これも、添付の「付録2」旧バージョンのアンインストール手順.pdfファイルも参考にご覧ください。
なお、「すべてのユーザー」を止めて「このユーザーのみ」にして試しています。

正常にインストールが済めば、デスクトップにDSCWのショートカットアイコンが出来ていますから、それをダブルクリックして、プログラムを立ち上げてください。

最初は、何も動きがありません。

画面上のメニューの「ヘルプ」→「取扱説明書(H)」をクリックして、取扱説明書を一通りお読み下さい。

そして、CW信号の受信から、順を追って各種初期設定してください。 受信に成功したら、インタフェースを用意してキーボード送信にチャレンジしてみてください。

なお、mfc140u.dllが無いためインストールが出来ない等と表示されたときは、Microsoft Visual Studio +2015/2017および2019用 再頒布可能パッケージvc_redist_x86.exe をダウンロードしてください。

<https://support.microsoft.com/ja-jp/help/2977003/the-latest-supported-visual-c-downloads>

過去の修正点

バージョン30.3.0(5 May '24)

- 1) 送信のインタフェースとしてArduino UNO R3が使えるようにしました。R4ではなくて、R3をお勧めします。

Arduino UNOを使うことで、送信モニター音が出るようになりました。 また、手打ち電鍵操作も可能です。

Arduino UNOのセットアップは、Zipファイルに添付のArduino UNO R3を使ったインタフェースの制作の説明を参照ください。

バージョン30.2.2(17 Mar., '24)

サウンドデバイスの設定不良で、DSCWが強制終了したとの連絡があったので、サウンド関係を強化した。

でも、しかし、この問題は解決していたはず。 連絡くれた局の

バージョン30.2.1(29 Dec., '23)

- 1) ノイズ成分を低減させる自己相関関数計算を見直しました。処理後波形のバラツキ部位を回避させたことで、ノイズ除去がワンランクアップしたつもりです。 解読率アップに寄与します。

バージョン30.1.0(29 Nov., '23)

1) Tx Editにチェックマークを付けた状態では、受信中の速度計算が出来なかったので修正しました。TNX to JR3KSL

バージョン30.0.8(24 Aug., '23) & 30.0.9(12 Sept., '23)

1) オプション設定画面でハムログ入力画面のQSL欄へ転送する3文字を自由にセットできるように変更していましたが、QSL欄を空白には出来なかったのを修正しました。空白をセットした場合、DSCW側からハムログのQSL欄への書き込みはしません。TNX to JH0IMM

バージョン30.0.7(22 July, '23)

1) 受信中のCW信号の速度計測プログラムを見直しました。以前より、細やかに速度計算ができることで、速度追従が少し早くなりました。

バージョン30.0.6(11 Mar., '23)

1) 同一マクロ内に<VK_F6>と<VK_F1>を混在させたとき、Hiscallが消されてしまい、ハムログに正しくSAVEされないトラブルが発生していましたので修正しました。TNX to JH0IMM

バージョン30.0.5(6 Mar., '23)

1) 8N, 8Jなどの記念局のQSLカードはほとんど1Wayです。オプション設定画面で8N, 8J=Nにチェックを付けておけば、ハムログのQSL欄の2文字目にN文字を付けるようにしました。こちらから紙のQSLは印刷しなくなります。

2) AutoCQ送信マクロに<VK_F1>を書いても動作していなかったのを、修正しました。TNX to JH0IMM

バージョン30.0.4(16 Feb., '23)

1) QSL欄の文字をJ JE EEなどのように固定せず、お好みで自由にお使いいただけるように改良しました。詳しい説明はヘルプの取扱説明書のオプションの項を参照ください。

バージョン30.0.3(7 Jan., '23)

1) ハムログのQSL欄は元もとJ文字が入っていますが、JEまたはEEなど自由に文字をセットできるようにしました。eQSLとかhQSLで交換できた場合に紙のカードを発行しないなどの使い分けをするためです。

2) Ctrl+F1でハムログ入力画面のCallが読み取れず、QTHのCodeが帰ってきていた不具合を修正しました。

バージョン30.0.2(5 Sept., '22)

1) PTTのリードタイムに500msを追加しました。動作が遅い機器の制御向けです。TNX to JG2XWH

バージョン30.0.0(10 July, '22)

1) AutoCQ発信したとき、Repeat2回目以降、送信速度が速くなって、まともな符号が出ない不具合があったのを修正しました。TNX to JR6JGB

2) F6(QSO)ボタンを押した後で、F7(SAVE)ボタンを押して、保存させたところ、ハムログへは相手局コールサインが***のアスタリックになっていましたので修正しました。TNX TO 鈴木

バージョン29.0.0(3 July, '22)

1) CTESTWINへ自分から相手へコンテストナンバーを送るとき599 25 M等の様にCW送出には符号間にスペース1個を入れて発信する様にマクロをこしらえた時、CTESTWINにそのままスペース付きでデーター転送させていましたが、JARLにログシートを送るとQSOデーターを確認してもらえない状態にあったので、59925Mの様にスペース無しで、CTESTWINへ転送するように修正した。

バージョン28.0.2(29 Nov., '21)

1) 起動時にファイルから読み込んだ時の送信速度に誤差がありましたので、修正しました。TNX to JR6JGB

バージョン28.0.1(14 Nov., '21)

1) COMポート番号選択が15番までしか無かったのを49番+USBIF4CWで計50まで拡大しました。少数とは思いますが、COM番号を15番以上もお使いの局には朗報かも。

バージョン27.0.0(4 Nov., '21)

1) トランシーバーからの受信音をPC内蔵マイクで取り込む方もおられましたので、それも使えるようにしました。

2) ファンクションキー操作の一部を追加しました。

Ctrl + F6キーではRX枠とTX枠内を同時にクリアします。

Ctrl + F7キーでは音の入力レベル判定Threshold LevelのAutoのチェックをON/OFFします。

Ctrl + F8キーでは音のセンター周波数のAutoのチェックをON/OFFします。

バージョン26.0.0 (8 Sept.' 21)

Key ModeをE/J Directを選択して、和文を送信しているときに、ローマ字変換が正しく出来ない文字とか符号を間違えてキー入力してしまったとき、次の3文字ほどの文字が送信されない不具合があったので修正しました。TNX to JR6SKQ

バージョン25.0.2(21 June,' 21)

メニューのファイルからファイルの読み込み、保存、名前を付けて保存などの画面で、ファイル名がDigitalDoundCWとなっていたのを DigitalSoundCW に修正しました。 TNX TO JA8WVQ

バージョン25.0.1(10 Mar.' 21)

英語モルス符号の”(” と ”)”が違っていたので修正しました。TNX to JE0ERZ

バージョン25.0.0(2 Mar.' 21)

数字のゼロ0が英語のオーOと見分けにくいことが有るので、オプション設定画面のフォントConsolasを選択することで、0が表示されるようになりました。TNX to JH1KYA

By JA3CLM